

## 八王子市とドコモが「上川の里保全活動協定」を締結 ～温室効果ガス排出量の実質ゼロに向けたスマート林業を研究～

東京都八王子市と株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）は「上川の里保全活動協定」（以下、本協定）を2023年3月24日（金）に締結いたしました。

上川の里は、八王子市の市街地から北西に約10キロの位置にある八王子市が管理する特別緑地保全地区で、50.9ヘクタールの広大な敷地にサワガニ、アカライモリなど日本固有の生物が生息しています。

ドコモは都心からのアクセスの利便性とGX（グリーントランスフォーメーション）研究フィールドとしての可能性や、八王子市がこれまで進めてきた里山保全の取組に賛同し、本協定を締結いたします。

本協定は、両者の協働により、上川の里の豊かな自然環境を保全し、里山環境の再生を図ることを目的としています。両者は、温室効果ガス排出量の実質ゼロに向けた取り組みとして、森林のCO<sub>2</sub>の吸収量に注目し、上川の里にあるスギ・ヒノキの森林管理を進めます。

管理されたスギ林は1ヘクタール当たり約302トン（約111世帯分の年間排出量に相当）の二酸化炭素を蓄えるといわれており、ドローン空撮画像のAI解析技術を用いて、スギの樹高や太さ、材積量を計測し、年間当たりのCO<sub>2</sub>の吸収量のモニタリングを実施していきます。

また、林業業界全体の課題となっている人手不足の社会課題に対しても、上川の里を実験フィールドとして、林業機械の遠隔操縦・自動運転等による省人化の研究を行い、林業業界の課題解決策を模索します。



## <上川の里の概要>

八王子市上川町に位置する上川の里特別緑地保全地区（上川の里）は、良好な里山環境が残る都内でも有数の場所です。2022年2月に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明した八王子市では、「八王子市みどりの基本計画」において、上川の里における保全と活用の取り組みをリーディング・プロジェクトと位置付け、多様な活動主体による里山景観の保全と環境学習や事業者のCSR活動の場などとしての活用を行っています。

上川の里では、地域住民の協力により、散策路の草刈りや近隣小学校の児童による稲作体験を実施しており、地域コミュニティの醸成の場にもなっています。NPO や事業者による CSR 活動では、間伐作業や畑作の体験などが行われているほか、八王子市は、夏休みなどに親子里山体験講座を開催しています。

多様な活動を通じて、人々が集まり、保全と活用のモデルとなる取り組みを推進しています。



八王子市とドコモは、本協定を通じて、IoTによるスマート林業の研究・里山環境の再生を図ることで、GX（グリーン・トランスフォーメーション）の取り組みを推進してまいります。

本件における報道機関からのお問い合わせ先	
八王子市 環境部 環境保全課 <a href="mailto:b111100@city.hachioji.tokyo.jp">b111100@city.hachioji.tokyo.jp</a>	株式会社 NTT ドコモ ライフスタイルイノベーション部 GX ビジネス担当 <a href="mailto:docomo_gx@ml.nttdocomo.com">docomo_gx@ml.nttdocomo.com</a>